

令和2年度 第1回 松山市地域公共交通会議

議事概要

□ 日時・場所

令和2年11月30日（月）13：30～14：10 KH三番町プレイス4階研修室

□ 出席者

松山市都市整備部 部長	横本 勝己
松山市都市整備部 副部長 兼 都市・交通計画課 課長	坪内 洋
松山市保健福祉部 介護保険課 課長	橋口 徳則（代理:越智 茂樹）
松山市保健福祉部 障がい福祉課 課長	岸 洋一（代理:高橋 太）
松山市保健福祉部 副部長 兼 保健予防課 課長	篠森 紀子（欠席）
伊予鉄バス株式会社 部長	岡田 好功
松山市タクシー協会 会長	清水 一郎（代理:友石 晃由）
一般社団法人愛媛県バス協会 専務理事	稲荷 和重
一般社団法人愛媛県ハイヤー・タクシー協会 専務理事	田所 秀志
松山市高齢クラブ連合会 芸能・文化部長	村木 敏明
松山東雲短期大学 教授	桐木 陽子
松山市身体障害者協会 副会長	松田 豊秋
特定非営利活動法人 自立生活センター松山 理事長	河本 満幸（欠席）
国土交通省 四国運輸局愛媛運輸支局 首席運輸企画専門官	菊池 勝二
全国自動車交通労働組合連合会 愛媛地方本部 執行委員長	宮岡 主
伊予鉄労働組合 書記長	稲石 健
愛媛県警察本部 交通部交通規制課 課長	松下 裕樹（代理:玉田 晃雄）
愛媛県中予地方局 地域政策課 課長	星加 修一

（敬称略 順不同）

※委員総数18名中16名の出席により過半数を超えているため、本協議会は有効に成立する。

□ 説明者

久枝地区まちづくり協議会 会長	吉岡 隆
久枝地区まちづくり協議会 事務局	尾崎 隆男
東洋タクシー（株） 取締役常務	白石 雅大
ネッツトヨタ瀬戸内（株） モビリティ事業部 課長	大石 一浩

（敬称略 順不同）

□ 議事

1. 協議事項

○久枝地区における予約型乗合交通「チョイソコひさえだ」の運行計画（実証実験）

事務局

--- 経緯・概要説明 ---

久枝地区まちづくり協議会 会長 吉岡 隆

--- あいさつ ---

ネッツトヨタ瀬戸内（株）モビリティ事業部 課長 大石 一浩

--- 資料 「チョイソコひさえだ」実証実験 第1期運行計画

（2021年1月13日～2022年3月31日） 説明 ---

中予地方局地域政策課 課長 星加 修一

- ・事業の実施主体は誰になるのか？久枝地区まちづくり協議会とネッツトヨタの共同実施主体のような形をとるのか？
- ・道路運送法上の許可申請者は誰になるのか？
- ・運輸局との協議状況は？許可見込みは？
- ・全国各地でチョイソコは10～20カ所で実施されていると思うが、中四国地方では初めてなのか？
- ・イメージしにくいので、具体的な地域の協賛企業名を教えてください。

ネッツトヨタ瀬戸内（株）モビリティ事業部 課長 大石 一浩

- ・実施主体については、松山市と整理しておく必要があると話していたところである。
- ・車両運行中の事故の責任は東洋タクシーになると考えている。
- ・プロジェクト全体に係る責任は弊社になると考えている。
ただし、住民の方から見れば久枝地区まちづくり協議会と思われる可能性がある
ので整理が必要と考えている。
- ・道路運送法第21条に基づく許可申請者は東洋タクシーであり、許可見込みはある
状況である。
- ・全国では、令和2年10月から新たに6～7カ所開始しているが、四国では初めてだ
と思う。
- ・久枝地区のチョイソコは、全国で実施されているチョイソコとは内容が異なり、乗
り放題でしかも税金を使わない。税金を使わずに実施しているところは全国で一
つもなく、おそらくすべて行政が事実上実施主体となっていると認識している。
- ・協賛企業は大きく分けると、3種類に分けられると考えている。
1つ目は歯医者含む病院関係、2つ目はお買い物するお店、3つ目は地域にある普
段来客のないような建設業等が協賛企業に入っている場合がある。

- ・協賛し停留所を構えることでお客様が増えてうれしいというわけではなさそうで、久枝でまちづくりに貢献したいという思いから協賛いただいている。特に 3 つ目のカテゴリーの建設業等の企業は、まさにその認識で関わってくださっている。

松山市障がい福祉課 代理 主幹 高橋 太

- ・資料 (8) の予約のルールについては、電話による予約となっているが、電子メールや F A X での予約はできないのか？

ネッツトヨタ瀬戸内 (株) モビリティ事業部 課長 大石 一浩

- ・ご質問の趣旨としては、障がい者の観点だと思うが、実施当初のところなので、今後の課題とさせていただきたい。
- ・用意している車両はそもそも車いすが乗せられるようにはなっていないが、将来的にはチャレンジしていきたいと考えている。
- ・実は、使っているシステムはスマートフォンだけで完結するものである。しかし愛知県で初めて運行開始されたときには、利用者はほとんど高齢者でそもそもスマートフォンを持っていない方が多く、急遽コールセンターを開設して人が受けてシステムを代理入力するという形を取った経緯があり、今回のチョイソコでも当初は同様の対応をしていきたいと考えている。

全国自動車交通労働組合連合会 愛媛地方本部 執行委員長 宮岡 主

- ・ゴミステーションを集合場所にしてバス停の代わりにしていきたいという話であったが、出発点も目的地もそういったところになるのか？例えば病院であれば、玄関口で降ろしてくれるとか、それとも目的地は行きたいところで降ろしてくれるのか？

ネッツトヨタ瀬戸内 (株) モビリティ事業部 課長 大石 一浩

- ・出発時の乗りたいところはゴミステーション付近が多くなるだろうと考えている。
- ・行きたいところについては、協賛いただいている企業の軒下につけるのが理想と考えている。

全国自動車交通労働組合連合会 愛媛地方本部 執行委員長 宮岡 主

- ・例えば、自宅から近所の友人宅に行った場合、帰りも利用したい場合、帰りも自宅に来てくれるのか？それとも近くのバス停で乗ることになるのか？

ネットヨタ瀬戸内（株）モビリティ事業部 課長 大石 一浩

- ・行けるのはあくまでも停留所から停留所の間になるので、あの人の家のあそこまでということはできず、帰りも同様である。

国土交通省 四国運輸局 愛媛運輸支局 首席運輸企画専門官 菊池 勝二

- ・費用が月額 85 万円ということで、その内訳を教えてください。

ネットヨタ瀬戸内（株）モビリティ事業部 課長 大石 一浩

- ・タクシー会社への支払いが約 53 万円
- ・弊社のコールセンターの人件費が時給 1,200 円の積算で約 17 万円
- ・乗合の最適経路を導き出すチョイソコのシステムが約 6 万円
- ・その他として、通信費や停留所の看板を作って印刷したり、ラミネートパウチする等の雑費が 9 万円
- ・以上で約 85 万円の内訳になると思います。

中予地方局地域政策課 課長 星加 修一

- ・会員条件について、久枝地区の住民であれば誰でも利用できるということだが、高齢者、障がい者や交通不便地の住民に限るとか、そのような考え方もあると思うが、そういった議論はあったのか？

ネットヨタ瀬戸内（株）モビリティ事業部 課長 大石 一浩

- ・考えていることが 2 つある。
- ・1 つ目は、1 台で対応できる人数は 200 人が限界と考えており、当初は先着 200 人となる。2 つ目は、運行予定の車両は、基本的にご自身で乗降できる方に限ることから始めざるを得ないと考えている。

(その他質問・意見等なし)

松山市都市整備部 部長 横本 勝己

- ・概ね運行計画が認められたので、今後は松山市の要請書を添えて実証実験の手続きを行っていただく。なお、実証実験の後、本格運行に移行する場合には、改めて本会議に諮るので、よろしくお願ひしたい。

2. その他

(その他質問・意見等なし)

以上